

平成28年度第3回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

○まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況・・・資料1

○まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況シート・・・資料2(1～10)



平成29年2月17日開催

平成28年度香南市 まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況

資料1

28年度具体的な施策

国の地方創生
関連交付金活用

地方創生加速化交付金関連事業
地方創生先行型交付金関連事業

【足腰を強め、「地力」を高める】

1) 農業の振興

- ① 農業生産基盤の充実
- ② 治水・利水整備の促進
- ③ 担い手対策の促進
- ④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
- ⑤ 消費者の安全安心志向への対応
- ⑥ 中山間農地の保全と活用の促進

2) 林業の振興

- ① 森林の多面的な利活用の促進
- ② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)

3) 水産業の振興

- ① 漁港の改修・整備等の推進
- ② 漁業経営の基盤強化
- ③ 漁場の保全
- ④ 観光漁業の推進
- ⑤ 水産加工品流通販売の推進

4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化

- ① 地産地消の推進
- ② 加工・流通・販売などの体制を強化

【新たな産業づくりに挑戦する】

1) 商工業の振興

- ① 企業誘致の促進
- ② 既存企業の育成・支援
- ③ 魅力ある商業地・商店街づくり
- ④ 空き店舗の活用
- ⑤ 新規企業の育成支援

【移住・定住促進のためのしくみづくり】

- ① 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- ② 若年層の交流・情報交換やイベント開催
- ③ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
- ④ 移住促進

【人生をトータルでサポートする体制づくり】

- ① ライフステージに応じた切れ目ない支援
- ② 若者の出会いの場づくり

【子ども、子育て支援・環境の充実支援】

- ① 子育てを支える地域の育成
- ② 子育て施策の充実
- ③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

【協働のまちづくりの推進】

- ① 住民組織との情報交換
- ② 地域活動の支援体制強化

【災害に強いまちづくり】

- ① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- ② 自主防災組織の設立・活性化
- ③ 災害時における地域の支え合いづくり
- ④ 消防・防災対策の強化

【交流人口拡大】

- ① 集落活動センター(小さな拠点整備)
- ② 地域団体の活動促進、支援充実
- ③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大

【大学との連携】

- ① 大学との連携

28年度取り組み状況の概要

香南市産業振興計画

産業成長戦略

農・林・水・商・観・住
業・産・産・業・業・宅
分・分・分・分・分
野・野・野・野・野

分野を超えた連携

※情報収集

意見交換

香南市産業振興計画推進分野別部会 H27.10.30 設置

pickup

農業部会

林業部会

水産部会

観光部会
(「イリガ」専門委員会)

商業部会

工業部会

pickup

香南市人生支援計画

人口減少問題を考える会(4回開催)

・子・う・え・☆
仕・教・特・な・人
育・事・産・ま・ん
で・品・い・だ・戦
て・る・る・る・口
増

☆例えば・・
・20代から40代の子育て世
代を呼び込むには・・
・移住者を呼び込むために
は・・

○アイデアを出し合い施策として実現できないかどうか検討・・

人生支援計画重点施策

- ① 香南市ウエルカム移住・定住促進
- ② 出会いの場の提供、ライフセミナー
- ③ 香南市ファミリーサポートセンター
- ④ 香南っ子夢実現プロジェクト(検討)
- ⑤ 香南まるごとポイント制度(検討)
- ⑥ 不妊治療への助成(検討)

本年度取り組み
実施のものから、
次年度に向けた
計画まで

29年度新たな取り組みについて

【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

★産業振興計画推進分野別部会による取り組みの成果
・部会が機能しはじめたことにより、実質的な議論の展開が図られている。
・部会が当事者として意見を出し合い、策定委員会と連動を図れは始めている。

★新たな事業等への取り組み

- ・遊漁船業等振興事業
- ・インターシップ支援事業
- ・創業支援利子補給金事業

NEW

産業振興と雇用の創出で
人口増へ

【基本目標2】新しい人の流れをつくる

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

★人口減少問題を考える会の取り組みの成果
・各課職員20代から40代の子育て世代や未婚の方を中心に編成。人口増加施策や人口減少を食い止める施策について案を出し合い協議検討を行った。
・移住から定住につながる活動を期待し、地域づくりから新たな産業の創出まで、地域住民と一緒に取り組みを進める地域おこし協力隊員募集について提案する。
・H28年12月移住者相談会「高知暮らしフェア」へ参加し移住相談、協力隊相談のPR活動を実施した。

★人生支援計画重点施策の新たな取り組み

- ・地域おこし協力隊員募集
- ・結婚新生活支援事業
- ・香南っ子夢実現プロジェクト事業
- ・こうなん健康チャレンジポイント事業
- ・一般不妊治療費助成事業

NEW

人の流れをつくり、若い世代
の希望をかなえることで
人口増へ

【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

【基本目標2】新しい人の流れをつくる

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

平成28年度第3回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況シート

平成 29 年 2 月 17 日

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（1）足腰を強め「地力」を高める

数値目標：新規農業者数 H26：7 人／年→H31：15 人／年

【概要・目的】 ○農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次産品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。

平成 28 年度の取り組み状況

1）農業の振興

- ①農業生産基盤の充実
 - ・農業基盤整備促進事業において、老朽化した頭首工他の整備を実施中。概ね順調である。
- ②治水・利水整備の促進
 - ・工業用水道整備事業、農業集落排水整備事業において水路整備等を実施中。概ね順調である。
 - ・農業集落排水事業 PR に向けた小学校(佐古小、岸本小)への環境出前授業など実施済み。
- ③担い手対策の促進
 - ・新規就農者や規模拡大農家に対して園芸用ハウス建設の助成を行う、園芸用ハウス整備事業を実施中。中古ハウスが 1 件完成し、新規ハウス 6 件、中古ハウス 2 件が建築中である。中古ハウスは農業者、新規ハウスは土佐香美農協が事業主体であり連携を密に順調に実施している。
 - ・新規事業の親元就農支援事業では 2 名が研修を終了し、営農を開始している。
 - ・就農直後の不安定な経営に対して後継者の方に補助を行う、農業後継者推進事業を実施中。広報誌に掲載し、6 件の実績。
 - ・ハウス園芸作物の収量向上のため、炭酸ガス発生装置等の導入に対する経費の一部を助成する環境制御技術導入促進事業を実施中。計画どおりの 37 件で補助金交付決定を受け順調に実施している。
- ④農産物ブランド化の推進と加工品の開発
 - ・産業振興推進総合支援事業において、これまでエメラルドメロン販売力向上対策として生産面新技術導入や販売戦略の構築を行ってきた。高品質生産力向上対策を実施している。
 - ・ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」として、新技術や有望品種の導入などによる反収の増加、コスト削減を進めるとともに作型改善など経営の安定化を行ってきた。流通、販売上の対策を実施している。
- ⑤消費者の安全安心志向への対応
 - ・地産地消推進協議会事業により、耕作放棄地を利用した学校給食米の栽培を実施、耕作放棄地の解消につなげている。(H27 年度：0ha→H28 年度→4.2ha) また、学校給食市内野菜の使用率向上に向けた取り組みも順調に実施している。
- ⑥中山間農地の保全と活用の促進
 - ・中山間地域等直接支払事業により、農業生産条件が不利な地域において支援強化を行う。新たな協定締結に向けて調整を実施している。昨年度より 3 組織増え、11 組織となる。
 - ・有害鳥獣被害対策事業の実施
 - 【捕獲数イノシ 155 頭、サ 129 頭】
 - 【延長 6, 469m の防止柵設置】

課題と今後の取り組み

1）農業の振興

- ①農業生産基盤の充実
 - ・防災関連事業が優先となっており、計画通りの予算割り当てが大変厳しい状況であるが、引き続き、県などに要望・陳情を行う。
- ②治水・利水整備の促進
 - ・地元協議調整を行い、事業計画箇所の早期竣工に向けて取り組みを行う。
 - ・引き続き小学校での環境出前授業やふれあい祭りイベントでの加入促進を実施する。
- ③担い手対策の促進
 - ・残りの中古ハウス 2 件、新規ハウス 6 件の合計 8 件を建設予定。施設園芸農業の一層の振興を図るため取り組みを継続実施する。
 - ・2 月から新規 1 名が研修予定であり、引き継ぎ新規就農者の確保と育成を図る。また、経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し給付金を支給し、青年就農者の確保と育成を図る。
 - ・農業後継者推進事業を案内し、農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善、就農後の定着を図る。
 - ・引き続き、環境制御技術の導入を促進し、施設園芸の振興を図る農家への取り組みを継続実施する。
- ④農産物ブランド化の推進と加工品の開発
 - ・エメラルドメロン増収、高品質生産向上対策、生産コスト低減技術により生産性強化を図るとともに、ブランド力の強化、有利販売につながる、知名度・販売力の向上対策を実施する。
 - ・ニラー高温対策技術の確立や雇用労力確保、規模拡大など生産上の対策を実施するとともに、流通・販売上の対策を実施する。
- ⑤消費者の安全安心志向への対応
 - ・夏場の野菜対策として予冷库を年度内に完成予定。玉ねぎや、ジャガイモ等の品目の活用を予定している。
- ⑥中山間農地の保全と活用の促進
 - ・中山間地域等直接支払事業による新規協定の増加に向け、地区説明会を実施する。
 - ・農業者へ広報等活用し、有害鳥獣被害対策事業の周知徹底を図る。関係機関と連携し、農作物の被害の減少に取り組む。

（産業振興推進農業部会での意見など）

- 山北みかんをブランド化していくために、何らかの事業で予算化できるのであれば活用させてもらうので、協力をお願いしたい。
- 中山間複合経営拠点構想における研修用ハウスは新規就農者のための施設であってほしい。

施策の追加等

- ⑧施設野菜等の栽培や農業用機械の操作等の研修に対する助成として、担い手育成センター研修事業を実施【10 人】。
- ⑨香南市実践型ハウス研修事業の実施。
- ⑩特産品の消費拡大や、6 次産業化等の推進を行う農業活性化地域協議会事業を実施。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

新規農業者数 平成 31 年度：15 人／年 〈平成 28 年度：10 人／年〉

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）

新規農業者数 H28 年 12 月末 14 人／年（Uターン 13 人、Iターン 1 人）

※平成 28 年度新規就農者集計表（平成 27 年 6 月 2 日～平成 28 年 6 月 1 日に就農した者） 高知県中央東農業振興センター調べ

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（1）足腰を強め「地力」を高める

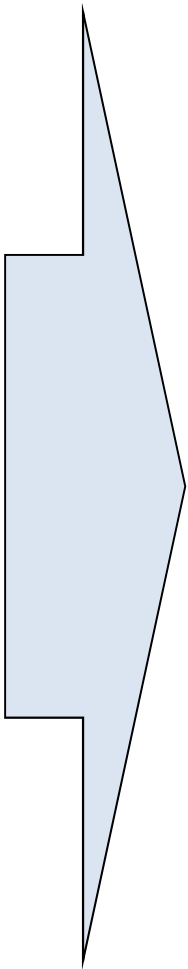
数値目標：森林境界明確化面積 H26：188ha→H31：600ha 以上

【概要・目的】 ○生産性向上と森林の保全・活用に加えて、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。

平成 28 年度の取り組み状況

2）林業の振興

- ①森林の多面的な利活用の促進
- ・林道・作業道などの維持管理と整備推進、人工林間伐の支援を強化するなど、林業の生産性の向上と森林の保全活用を実施している。取り組みは概ね順調である。
 - 林道道路側溝整備事業（城山・羽尾線 L＝7,094m）は、予算の範囲内で一部（L＝2,500m）を実施中。
 - 畑山・奥西川線擁壁復旧工事を H28 年 11 月に完了。
 - 畑山・奥西川線舗装工事を H29 年度に実施予定。
 - ・畑山・仲木屋残土場整備事業を H29 年 1 月に完了。
 - ・緊急間伐総合支援事業
 - 切捨間伐（10ha） 夜須町羽尾・沢谷 【未実施】
 - 保育・搬出間伐（30ha） 香我美町撫川・舞川 【23.2ha 実施中】
 - 作業道整備（2800m） 香我美町撫川・舞川 【2,800m 実施中】
 - 人工造林（3ha）被害防護ネット（1000m） 香我美町別役 【平成 29 年度に実施予定】
 - ・森林整備地域活動支援事業
 - 森林経営計画（100ha）香我美町撫川・夜須町仲木屋・沢谷 【90ha 実施中】
 - 施業集約化（5ha）香我美町奥西川 【未実施】
 - 条件整備（作業道の改良 50ha）香我美町撫川・舞川・奥西川 【未実施】
 - ・水源の森整備事業
 - 搬出間伐（5ha） 香我美町撫川 【5ha 実施中】
 - ・森林整備推進事業（高性能林業機械導入）
 - ①木材自動選別機 【H28 年 10 月末に納品→可動中】
 - ②脱着式コンテナ 【H29 年 3 月末導入予定】
- ②森林の活用（木質バイオマス利用促進）
- ・農業ハウス用ペレットボイラー数は、現状 2 基の継続使用中。木質バイオマス利用促進事業については、6 月末に全体協議会が開催され、木質バイオマスボイラーの導入状況及びペレット需用状況とバイオマス発電の稼働状況など協議を行った。



課題と今後の取り組み

2）林業の振興

- ①森林の多面的な利活用の促進
- ・畑山・奥西川線舗装工事は同線擁壁復旧工事に追加で予算が必要となったことにより、翌年度に実施していく。
 - 大雨、災害等の緊急性を有する場合は優先的に復旧整備を行っていく。
 - ・緊急間伐総合支援事業及び水源の森整備事業については概ね計画通り実施している。
 - 人工造林、被害防護ネットについては事業申請が平成 29 年度にずれ込むため、今年度は未実施である。
 - ・森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）は、本年度は他市において重点的に計画が実施されるため未実施である。次年度は実施を予定している。
 - ・平成 29 年度に森林整備推進事業（高性能林業機械導入）としてタワーヤーダ（1 台）を整備する。
- ②森林の活用（木質バイオマス利用促進）
- ・導入当初に比べ原油価格も下落したことなどにより、年間燃料費の大幅なコストダウンには至っていない。今後は、機器の耐用年数の問題も発生するなど利用者の意向と併せて関係機関と連携した協議の場を設ける。

産業振興推進林業部会での意見など

- 森林の自然環境破壊や鳥獣被害の問題が深刻化している。また、イノシシ・シカだけでなく猿の目撃情報も多く、椎茸や野イチゴの被害報告がある。
- 世代が変わり境界だけでなく所有者自身が場所も分からなくなっている。山林の相続の問題がある。
- 林道の未登記箇所があり、個人の土地へ入り込んでいるため早急に確認が必要。

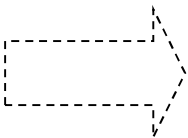
施策の追加等

- ⑧森林・山村多面的機能発揮対策事業として、里山の保全・森林資源の利活用等の取り組みに支援を行う。
- ⑨林地台帳整備事業の実施（森林情報の確認・提供及び地図の公表）。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

森林境界明確化面積 平成 31 年度： 600ha 以上 〈平成 28 年度： － 〉

※森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）本年度は未実施。



【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）

平成 28 年 12 月末 －

※森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）本年度は未実施。

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	基本的方向：（1）足腰を強め「地力」を高める	数値目標：沿岸漁業総生産量 H26：1, 313 トン→H31：1, 200 トン以上維持
---------------------------------	------------------------	--

【概要・目的】	○生産基盤充実や後継者育成支援、観光産業との連携を推進し、資源回復と経営力の強化により稼げる水産業を目指します。 ○農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、水産加工品の付加価値向上を図り、農業、水産業における加工・流通・販売体制を強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図ります。
---------	---

平成 28 年度の取り組み状況

3）水産業の振興

- ①漁港の改修・整備等の推進
- ・漁港施設の老朽化に伴う改修工事を行い、計画的に漁港の保全、改修整備を行った。
吉川漁港施設用地舗装復旧工事および吉川漁港-1.5m物揚場（北）保全工事を行い、施設の保全を実施、概ね順調である。
吉川、住吉漁港航路標識保守点検を年度内に完成予定。
- ②漁業経営の基盤強化
- ・老朽化に伴う各種漁業用施設の改修、整備を順調に実施している。（改修・整備件数：完成済 3 件、年度内完成予定 1 件）
赤岡水産機能施設の荷捌所排水施設修繕工事、ホイストクレーン取替工事が完了し、手結支所製氷冷蔵施設のアイスカッター取替工事も年度内に完了予定。また、手結支所フォークリフト購入事業でリフト購入により作業効率の向上が図られた。
 - ・赤岡、吉川漁港における鳥害対策を検討する。
- ③漁場の保全
- ・母藻の設置やウニ駆除など、手結地区藻場保全活動を順調に実施している。
（母藻の設置 1 回、ウニ駆除 5 回、魚類駆除 1 回（2 月実施予定）、モニタリング 1 回（3 月実施予定））
赤岡・吉川地区の掃海活動の実施（2 月実施予定）
- ④観光漁業の推進
- ・地引き網漁業経営体の維持（1 経営体）を図る。地産地消推進事業と連携し、小学生地引き網体験を実施。（11/13 実施）
- ⑤水産加工品流通販売の推進
- ・シイラが学校給食のメニューとして定着したことや、販売先の拡大などにより販売金額も目標を達成し超過している。（販売金額 3,500 万円）。

4）農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化

- ①地産地消の推進
- ・学校給食へのシイラ加工品の納入回数は 19 回行った。また、地産地消の推進及び体験学習を実施。
（地引網 11/13・地元漁業の学習 1/27・魚の 3 枚下ろし体験 2 月実施予定）
- ②加工・流通・販売などの体制を強化
- ・手結支所加工場整備事業によりヘッドカッターを導入し、作業効率の向上が図れた。

課題と今後の取り組み

3）水産業の振興

- ①漁港の改修・整備等の推進
- ・漁港施設の保全を図るため、長寿命化計画の推進を引き続き行う。また、県管理の港湾、漁港、海岸事業への継続要望を実施する。
- ②漁業経営の基盤強化
- ・漁業用施設の老朽化が進んでおり、機能保持のための改修、整備を継続的に実施する。
 - ・ハトのフン害等、施設の衛生管理対策の検討を継続して行い、具体的な対策を協議する。
- ③漁場の保全
- ・事業を効果的に実施していくため、活動内容等の再検討を行う。
- ④観光漁業の推進
- ・地引き網漁業は後継者がいないことから休止の状況になっている。市の観光の中心を担ってきた地引き網の存続に向けた取り組みを関係機関と行う。また、遊漁船等への経営の支援事業を県が今年度から行っており、市としても支援していく。
- ⑤水産加工品流通販売の推進
- ・シイラ加工商材の新たな事業展開として、ブランド化の確立によりさらなる漁業経営の安定化を図る。

4）農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化

- ①地産地消の推進
- ・シイラ加工品の学校給食への納入増加に伴い収益の増加につながっている。引き続き、普及啓発と食育授業、体験学習の継続及び強化を図る。
- ②加工・流通・販売などの体制を強化
- ・シイラの学校給食への導入に取り組むとともに、シラス加工品の新たな事業展開として新商品の開発等についても協議を行う。

産業振興計画推進水産業部会意見など

- 新規漁業就業希望者がいても住む場所を用意しないと難しい。新規就業者の確保のため地域支援課と連携し、U・I ターン者の受入を図る。住居については入居者のいない市営住宅の活用を図ってはどうか。
- 水産加工品流通販売の推進について、納品先の増加や鮮度維持に繋がることから、手結支所の加工場に真空パックの機械を導入してほしい。また、食育活動の教材として漁法（シイラ巻き網漁・バッチ網漁）や養殖場、加工場の作業をDVD化し、魚を捕る方法から食卓に届くまでを小学生に伝えることも必要ではないか。

施策の追加等

- ⑧ 海岸保全施設長寿命化計画の策定。
- ⑨ 遊漁船業等振興事業の実施（遊漁船設備リース等）。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

沿岸漁業総生産量 平成 31 年度：1,200t 以上維持 〈平成 28 年度：1,200t 以上維持〉

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）
平成 28 年 12 月末 沿岸漁業総生産量 597 t（ワシラス・シイラ等）

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（2）新たな産業づくりに挑戦する

数値目標：製造品出荷額 H26:407 億円→H31:500 億円以上

【概要・目的】 ○商工業の分野では、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進するなど、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。
○6次産業化による新産業の創出では、生産者が付加価値を生み、産業を活性できる仕組みづくり、及び関係機関と連携し、補助事業の活用等を含めて支援していきます。

平成 28 年度の取り組み状況

1）商工業の振興

- ①企業誘致の促進
- ・香南工業団地整備事業により整備された区画の早期完売の取り組みを実施。（残り 1 区画）・・・香南市への問い合わせ件数(3 件)
 - ・高知県企業立地セミナー in 大阪(8/23)へ参加。(2 名)
 - (株)精工…操業開始、山本貴金属地金(株)…9/16 着工、H29.3 月末完成予定、
 - (株)精工と雇用対策に関する打合会を開催 (7/26)
 - (株)精工が会社説明会、面接会の開催 (9/23.24)。26 名参加（うち香南市在住 15 名）
 - (株)泉井鉄工所…12/20 土地譲渡契約締結
 - (株)泉井鉄工所より香南工業団地企業立地促進事業費補助金の交付申請書が 12/20 に提出される。（10 人の新規雇用のうち、5 人の地元採用を予定→12/26 付けで補助金交付決定通知済）
- ②既存企業の育成・支援
- ・香南市緊急融資保証料補給金事業において、高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結。(4/1)
- ③魅力ある商業地・商店街づくり
- ・香南市地域経済活性化委員会でポイント制度導入に向けて検討を行っていたが、商工会の会員へのアンケート結果を踏まえ、検討を一時休止することになった。
- ④空き店舗の活用
- ・空き店舗対策事業費補助金交付要綱を制定（10/1）し、市のホームページへ掲載。
- ⑤新規企業の育成支援
- ・香南市香我美町立地企業交流会を開催（6/1）し、8 企業（14 名）の参加。工業団地の周辺整備や南海地震対策について討論し、「香南市産業人材育成事業」の紹介を行った。
 - ・香南市ものづくり会懇談会を開催（11/14）し、6 企業の参加。地域中核企業の支援及び人材育成支援研修について講演を行い。「香南市産業人材育成事業費補助金」の活用、香南市ものづくりネットワークホームページの更新について協議を行った。

2）6 次産業化による新産業の創出

- ①魅力ある新商品の開発
- ・ヤ・シィパーク周辺地域の活性化策として特産品を活用した氷菓や焼き菓子類を製造販売する加工所兼店舗の整備を実施。(5 月) 店舗スタッフの雇用 11 名(正規職員:2 名、非正規職員:9 名(パート・アルバイト))、各種研修会への参加実施。フルーツアイスバー専門店&スイーツカフェ「mana mana」グランドオープン (9/17)
 - 土佐カントリークラブ(香南市)、デュロックファーム(四万十町)でアイスバー3 種限定販売。
 - 大阪市のレストランでアイスバー8 種限定販売。
 - ランチメニューの提供(9/1～)
 - 各種カタログへの掲載（香南市ギフトカタログ・香南市ふるさと応援寄附金記念品カタログ・まるごと高知お取り寄せ・贈り物カタログ・百貨店「井筒屋」の来年のお中元カタログへの掲載予定）
 - インターネット販売 (9/17～)
 - 平成 28 年度「高知家うまいもの大賞 2017」に最終審査まで通過

課題と今後の取り組み

1）商工業の振興

- ①企業誘致の促進
- ・残り 1 区画（約 1.6ha）について、県企業立地化と連携し早期完売を目指す。
 - ・県、市、ハローワークがタイアップし、さらなる雇用促進につなげる。県外で開催される移住、就職相談会への参加を行う。
- ②既存企業の育成・支援
- ・信用保証協会と連携し、中小企業の経済的負担の軽減を図る。
- ③魅力ある商業地・商店街づくり
- ・イベントの開催やガイドブック作成等について商工会等と引き続き協議を行い、内容の充実を図る。
- ④空き店舗の活用
- ・補助金の有効活用を図るよう周知徹底を行う。
- ⑤新規企業の育成支援
- ・香南市香我美町立地企業交流会は、年度内に第 2 回目の開催を予定。（自衛隊高知駐屯地と交流予定）
 - ・香南市ものづくり会は、会員企業を訪問し雇用や経営状況、課題等を把握し、支援策に反映させていく。

2）6 次産業化による新産業の創出

- ①魅力ある新商品の開発
- ・安定した利用客や売上の確保、新商品の開発を行う。

産業振興計画推進商業部会での意見など

- 香南市全体の商業者をまとめるのは難しい。香南市全体がまとまるような方法を考える必要がある。
- 健康が 1 つ事業と連携する観光協会のかがを、業種にこだわらずにもっと充実させていけばよいのでは。
- 地元商店で良い物が買えることを発信したい。
- マスコミが目目するような、特徴ある施策を打ち出す。テレビの影響力は大きいので効果があると思う。手結の可動橋が良い例。
- イベントを 10 年後も続くようにするには、若者をもっと巻き込んでいく必要がある。若者に中心となって実施してもらいたい。

産業振興計画推進工業部会での意見など

- ルネサス高知工場の承継先の確保及び川谷刈谷第二工業団地への企業誘致を早期に望む。
- 香南工業団地の分譲条件を見直し、既存企業と連携して付加価値を生むようなビジネスができる他業種参入の要件を追加してはどうか。
- 産業人材育成事業費補助金は、補助対象事業の拡大（講師招聘）とポリテクと連携して、企業のニーズに合った研修プランの提供をしてはどうか。
- 市内のインキュベーション施設としてポリテクの有効活用を検討していただきたい。
- 国内外のバイヤー招聘に観光等を結びつけて、香南市の産業振興に発展させる補助事業を検討していただきたい。
- 香南市ものづくり会は異業種を含めて新組織化し、活性化を図ってはどうか。

施策の追加等

- ⑧香南市インターンシップ受入企業支援事業として、市内の製造業の事業所が実施するインターンシップに係る宿泊費の一部を定額補助する。
- ⑨創業支援利子補給金交付事業として、信用保証協会が貸し付ける創業に関する資金融資に対して利子補給を行う。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

製造品出荷額 平成 31 年度： 500 億円以上 〈平成 28 年度： 500 億円以上 〉

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標） 平成 28 年 12 月末 ー ※工業統計の数値より、年度途中は公表無し

基本目標 1： 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（2）新たな産業づくりに挑戦する

数値目標：観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:120 万人以上

【概要・目的】 ○観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。

平成 28 年度の取り組み状況

3）観光のまちの育成

①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

- ・物部川流域フェスタ実行委員会におけるイベント部会の開催。（延べ 5 回）
第 2 回物部川フェスタの開催。9 月 25 日（日） 来場者約 4,000 人。
出店 21 店舗、体験イベント（カヤック、雲梯）実施。
物部川流域三市合同イベント開催に関する実行委員会の開催。（11/29）

②情報発信手段の効果的な活用

- ・外国人観光客受入環境の整備（Wi-Fi、観光案内板）として、公衆無料 Wi-Fi の整備 6 箇所を実施した。（のいち駅、ヤ・シィパーク、絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、天然色市場）また、ヤ・シィパーク施設案内板の 5 カ国語表記を実施した。
*5 カ国語・・・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語
また、アクトランド・のいち動物公園では多言語パンフレットを作成し、のいち動物公園どうぶつ科学館では、無料 Wi-Fi を整備した。

③地域に親しむ観光の促進

- ・まちの案内人会として現状約 10 名程度が活動可能な状況。あじさい街道ウォークに案内人として参加した。また、佐川町町歩き研修会へも参加を行う。
- ・ウォーキングコースは計画どおりコース設定を行っている。
- ・「志国高知 幕末維新博」事業で、観光協会がのいち駅にレンタサイクルの増台を図り、アクトランドは新規で購入を行う。また、サイクリングコースの設定に取り組んでいる。
サイクリング専門委員会を実施（10/20, 1/18）

④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

- ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業（カタログ販売）において、生産者会議やカタログ部会を開催し、広報活動として香南市広報誌や南国・香美・香南地域情報雑誌「こじゃんと」にて紹介、商談会にて配布、DM 発送、香南市内各施設にて配布。また、まるごと高知、まるごと日本、移住促進センター（以上、東京都）での配布や香南市内外イベント会場にて配布等を行い、販売額向上に取り組んだ。
【カタログ販売額 2,478,000 円（4～12 月）】

課題と今後の取り組み

3）観光のまちの育成

①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

- ・出店及び出演者に対してアンケートの実施、来年度の開催に向けた事業計画に反映を行う。
物部川流域フェスタ実行委員会を物部川DMO協議会へ引き継ぎ、来年度以降の体制や事業内容等について検討を行い、事業を実施する。
- ②情報発信手段の効果的な活用
 - ・引き続き外国人観光客の受入環境の整備を実施する。
ヤ・シィパークにおいて、トイレの洋式化を予定している（H29.3 月末）
大型クルーズ船の誘客及び観光ルートの設定を行う。
- ③地域に親しむ観光の促進
 - ・勉強会や研修を通じて、観光産業を担う人材を育成する。
 - ・引き続きウォーキングコースの設定を行う。
 - ・地域全体で盛り上がる体制づくりを行い、県や関係市町村と連携し、コンセプト（食・歴史・景観等）を持ったコース設定を行う。
- ④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化
 - ・通年カタログの配布。商品の PR、販路拡大に向け関係機関で引き続き取り組む。

産業振興計画推進観光部会での意見など

- 香南市全体をサイクリングしてもらえるよう、さまざまなコース設定を検討。
- 外国人はグーグルアースで追体験をしてから来る。アクトランドや動物園の内部や、サイクリングコースをグーグルアースで見ることができるようになれば、効果的ではないか。
- 全国放送を使って市を売り込んでいく。例えば、まるごと高知でニラを売って、あるお客さんが毎月ニラを買っているということをリポートし、全国に放送されれば影響があるのでは。
- 野市と言えば「朝どれ」という言葉を、いかにイメージ付けできるかが勝負。
- 「志国高知 幕末維新博」の地域会場の絵金蔵とアクトランドが目玉となるような企画をしていき、来てくれた方に地域を周遊してもらう仕組みをつくっていかうと考えている。

サイクリング専門委員会での意見など

- 高知龍馬空港で自転車梱包用段ボールの一時預かり業務ができるよう話が出来ないか。（松山空港が実施しており、サイクリストからは好評を得ている）
- 既存のものを利活用し、イベントも環境整備もできることから次々とやっていくべき。
- 自転車の預かりシステムがあると、サイクリストだけでなくお遍路さんにも利用してもらえる。
- 産業振興計画の一部としてではなく、協議会などの新たな組織を立ち上げてはどうか。実行委員会や協議会があれば、新たなサービスの展開、イベント等をスムーズに行うことができる。
- 自転車活用推進研究会の会員になると様々な自転車の情報が入手でき、イベント等の情報発信もできる。

施策の追加等

- ⑧大型クルーズ船の誘客を促進し、コース設定し、観光コンベンション協会等を通じて、ツアーエージェントにプロモーションを行う。

【平成 31 年度末の目標（平成 28 年度末到達目標）】

観光施設入込客数 平成 31 年度：120 万人以上 〈平成 28 年度：100 万人以上〉

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）

観光施設入込客数 平成 28 年 12 月末 101.8 万人

*対象観光施設・・・のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、香南市サイクリングターミナル（宿泊以外）、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、アクトランド、黒潮温泉、土佐カントリークラブ

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（3）分野を超えた産業間の連携を強化する

数値目標：観光施設入込客数 H26：93 万人→H31：120 万人以上

【概要・目的】

- 6次産業化による地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定。食糧の安定供給、地場製品の生産の維持・継続を図ります。
- 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会などの支援を促進します。
- 産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業など、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。

平成 28 年度の取り組み状況

1）6 次産業化による地産地商の徹底

- ①地産地商の拠点（直売所）の機能拡充
 - ・やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場などの直販所で、主力商品の定着、充実を図り生産農家の所得向上に取り組んでいる。
- ②地域内での創意工夫によるコミュニティの支援
 - ・西川集落活動センターでは、高知大学地域協働学部の学生との連携により、みかんジャムと生姜ジャムが完成している。現在、タンポポ茶の開発に取り組んでいる。

2）観光拠点形成とネットワーク構築

- ①資源の再発見（価値化・付加価値化）
 - ・新たな観光拠点の形成として、平成 27 年度に「三宝山基本構想磨き上げ検討委員会」が行われ、平成 28 年度は、シャトー三宝の耐震診断実施、基本計画策定について検討を行った。
- ②観光・交流の場づくり（地域住民参加）
 - ・祭りやイベントの開催により地域の特色を活かした活性化を図る。
どろめ祭り（中止）、絵金祭り（7/16・17）、みなこい港まつり（7/31）、冬の夏祭り（12/3・4）など開催。
- ③観光旅行会社（企画）とのタイアップによる複数観光ルートの構築
 - ・地域素材を使った旅行商品として、ニラ収穫体験モニター（5/29：7 人参加、6/5：中止）、羽尾暮らし体験モニター（6/23：5 人、7/23：16 人、8/28：11 人、10/11：中止、11/19：13 名、12/24：15 名）、折り紙＆新聞バック教室（8 月毎週土のべ 16 人参加）、塩の道トレイルランニングレース（10/2）、海のみえるまちあるき（10/30：21 人）、サンセットキャクモーターツアー（11/20：8 人、11/26：中止、12/11：10 人、12/17：9 名）など開催。
- ④物部川流域 3 市での観光振興
 - ・物部川 DMO 協議会設立（6/30）、株式会社ものべみらい発足（9/12）、おさかなクリスマス in 高知・ものべ川（12/23）、物部川 DMO 協議会第 1 回総会（1/25）を実施。また、毎月定例会（7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、12/14）を開催し、広域観光活性化について協議。

※注）日本版 DMO とは・・・地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

3）産業人材の育成・確保

- ①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場（拠点）の整備
 - ・香南市産業人材育成事業の補助金交付要綱及び公募要領作成（6/1）
市広報、HP で周知。商工会を通して事業所へ公募要領の配布。香南市香我美町立地企業交流会で紹介。香南市ものづくり会交流会で紹介。
 - ・香南市未来人材奨学金支援事業の補助金交付要綱及び公募要領の作成中。

課題と今後の取り組み

1）6 次産業化による地産地商の徹底

- ①地産地商の拠点（直売所）の機能拡充
 - ・やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場などで地場産品を活かした加工品の販売を行い、集客増及び売上増加につなげる。
- ②地域内での創意工夫によるコミュニティの支援
 - ・販売可能なみかんジャムは手作りのため、人手に加えて作れる時期が限られることから、製造量が増やせず販路拡大、収益につながっていない状態。地域の高齢化に伴うマンパワーの不足が課題。

2）観光拠点形成とネットワーク構築

- ①資源の再発見（価値化・付加価値化）
 - ・三宝山の観光拠点化に向けた基本計画の策定について、参画事業者を含めた検討委員会の中で行う予定であったが、事業者との調整に時間を要し、基本計画策定に欠かせない事業者の参画が年度内は見込めなくなった。
シャトー三宝の耐震診断を実施。今後、基本構想磨き上げ検討委員会でとりまとめたエリア活用の方角性をもとに、民間事業者が参画する検討委員会を立ち上げ協議を行う。
- ②観光・交流の場づくり（地域住民参加）
 - ・祭りイベントの周知徹底を行い、地域住民の参加及び交流人口拡大につなげる。
- ③観光旅行会社（企画）とのタイアップによる複数観光ルートの構築
 - ・各施設と連携し、香南市での滞在と観光素材への集客拡大を図る。セールスキャラバン等にも参加し香南市の知名度アップを図る。
- ④物部川流域 3 市での観光振興
 - ・物部川 DMO 協議会による具体的な取り組みを実践していく。
おさかなクリスマスで実施したアンケート調査及び年末年始の周辺観光施設への波及効果等を分析し、物部川エリアマーケティング戦略の基本情報とする。
12/23 のキックオフイベントをきっかけとし、広域観光組織の一体感の醸成及び関係者が共同して具体的な取組を実践していく。

3）産業人材の育成・確保

- ①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場（拠点）の整備
 - ・香南市産業人材育成事業は、事業所が活用出来る研修の案内や補助制度の活用を研修機関と連携してすすめていく。
 - ・香南市未来人材奨学金支援制度は、今後大学生や対象企業への周知を行う。

産業振興計画推進商業部会・工業部会・観光部会およびサイクリング専門委員会での意見など

※資料 2－4 商工業の振興、資料 2－5 観光のまちの育成と同様

施策の追加等

※資料 2－4 商工業の振興、資料 2－5 観光のまちの育成と同様

【平成 31 年度末の目標（平成 28 年度末到達目標）】

観光施設入込客数 平成 31 年度：120 万人以上（平成 28 年度：100 万人以上）

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）

観光施設入込客数 平成 28 年 12 月末 101.8 万人

*対象観光施設・・・のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、香南市サイクリングターミナル（宿泊以外）、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、アクトランド、黒潮温泉、土佐カントリークラブ

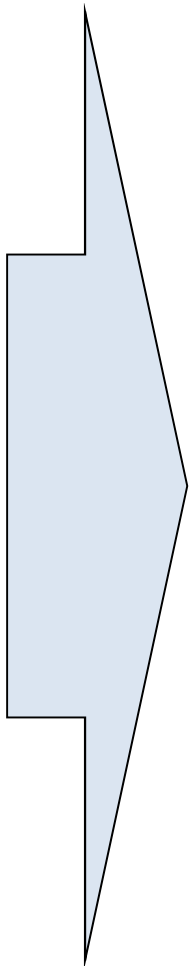
基本目標 2：新しい人の流れをつくる	基本的方向：（1）移住のためのしくみづくり	数値目標：人口の社会増減 H26:社会減→H31:社会増 120 人以上 県外からの移住者 H26: 3 組→H31:年間 20 組以上
--------------------	-----------------------	--

【概要・目的】	○情報発信や移住相談を推進します。 ○地域内で経済の好循環を生み出す取組みを推進します。	○若者の出会いの機会や情報交換ができる場づくりや交流事業を支援します。 ○県と連携した取組みを推進し、また「移住フェア」などを活用して移住の促進を図ります。
---------	---	---

平成 28 年度の取り組み状況

1）移住・定住促進のためのしくみづくり

- ①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
・移住応援ガイドブックを作成。（香南住むーず）
移住 H P を作成中
- ②若年層の交流・情報交換やイベント開催
・若年層の交流、イベント開催支援など実施。
婚活支援団体より 1 件申請、夜須町において 2 回のイベントを開催。
（1 回目 9/4 男女 38 人、2 回目 12/24 男女 20 人）
婚活セミナーの開催（10/30 「羽尾で手を繋ごう」男女 19 人参加）
- ③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
・集落活動センターでは、高知大学地域協働学部の学生との連携により、みかんジャムと生姜ジャムが完成している。現在、タンポポ茶の開発に取り組んでいる。
- ④移住促進
・中山間地域をモデル地域（香我美町東川・西川地区、夜須町北部地区）としての空き家の掘り起こしを実施。結果、お試し住宅、移住者支援住宅用の掘り起こしが各 1 件。
・市内全域を対象として空き家バンクの設置（11 月～）を行い、2 棟の登録がある。
移住相談会に参加（5 回）し、66 組の相談を受ける。
○高知暮らしフェア H28. 6/11（大阪）6/12（東京） 14 組
○高知まんなか移住相談会 H28. 10/21（東京） 5 組
○ふるさと回帰フェア H28. 10/22（東京） 5 組
○高知暮らしフェア H28. 12/10. 11（大阪・東京） 25 組
○JOIN 移住・交流&地域おこしフェア H29. 1/15（東京） 17 組
・高知県版 CCRC 構想（H28. 7）の策定を受け、県移住促進課と情報共有など連携を行う。



課題と今後の取り組み

1）移住・定住促進のためのしくみづくり

- ①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
・移住のポータルサイトとなる H P を活用してもらえるよう、促進のための情報収集及びガイドブックと連携したホームページの作成を行う。
- ②若年層の交流・情報交換やイベント開催
・継続して若年層の交流、イベント開催支援などに取り組む。
- ③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
・販売可能なみかんジャムは手作りのため、人手に加えて作れる時期に限られることから、製造量が増やせず販路拡大、収益につながっていない状態。地域の高齢化に伴うマンパワーの不足が課題。
- ④移住促進
・お試し住宅や移住者支援住宅は、所有者との契約をはじめ、改修等の整備に向けて順次進めている。
・空き家バンク登録件数の増加に向けて、掘り起こしを継続する。
中央広域 4 市（高知市、南国市、香美市、香南市）で連携した広域的な取組みを継続する。（移住相談会・移住体験ツアー）
・庁内において CCRC 構想の理解を深めるため議論、勉強会を行う。

人口減少問題を考える会の開催（4 回：7/21・8/29・9/30・10/11）【施策検討案】

- ①20 代から 40 代の子育て世代への施策の検討
○児童手当の拡充や祝い金の支給 →現金の支給だけにならない施策を今後は検討する。
- ②移住者を呼び込むための施策検討
○市内企業に移住者枠の採用をしてもらう →どのような制度が有効か検討する。
○地域おこし協力隊を 10 人採用する →庁内で協力隊のできる業務がないか調査する。

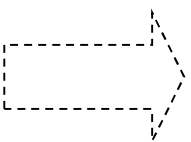
施策の追加等

- 新地域おこし協力隊を 5 年間で延べ 10 人採用する。平成 29 年度は 3 人予定。
- 新移住者等への住まい提供のため、空き家バンクへの登録を条件とし、空き家リフォーム補助を実施。
- 新移住をきっかけに農業を始めたいなど、農業に関心のある U I ターンなどを積極的に受け入れ、定住促進と耕作放棄の解消につなげるため、農地付き空き家バンクプランを実施。

【平成 31 年度末の目標（平成 28 年度末到達目標）】

人口の社会増減 平成 31 年度： 社会増 120 人以上 〈平成 28 年度： 91 人以上〉

県外からの移住者 平成 31 年度： 年間 20 組以上 〈平成 28 年度： 2 組以上〉



【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）
平成 28 年 12 月末 人口の社会増減 H28:転入 882 人ー転出 805 人 77 人増
〈参考 H27 年 12 月末: 転入 964 人ー転出 879 人 85 人増〉 ※広報 市のうごきより

平成 28 年 12 月末 県外からの移住者 H28: 4 組（4 世帯 6 人）
※県移住促進課調べおよび地域支援課調べ

基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	基本的方向：（１）人生をトータルでサポートする体制づくり （２）子ども、子育て支援・環境の充実支援	数値目標：婚姻件数（人口動態調査）H26：144 件→H31：154 件 合計特殊出生率（住民基本台帳）H26：1.44→H31：1.60
-------------------------------	--	--

【概要・目的】 ○香南市人生支援計画に基づき、若者の出会いの場づくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくりなど、市民の人生をトータルでサポートする行政の体制づくりを目指します。
○家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

平成 28 年度の取り組み状況

1）人生をトータルでサポートする体制づくり

- ①ライフステージに応じた切れ目のない支援
- ・平成 28 年度人生支援計画策定委員会の実施（①6/23、②10/26、③2/9）
幼年期から高齢期までのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策を実施中。
 - ・人口減少問題を考える部会の開催（4 回）（7/21, 8/29, 9/30, 10/11）
 - ・香南市まるごとポイント制度検討（8/9, 17, 30, 9/9, 14, 16, 10/4, 13, 19）

②若者の出会いの場づくり

- ・男女の出会いの場の提供支援について、婚活を支援する団体（よりあいにご家）より 1 件申請、夜須町において 2 回のイベントを開催。
（1 回目 9/4 男女 38 人、2 回目 12/24 男女 20 人）夜須町において男女 38 名交流会の開催。
香南市主催の婚活セミナーを開催。男性 10 人・女性 9 人が羽尾大釜荘にて交流。

2）子ども、子育て支援・環境の充実支援

- ①子育てを支援する地域の育成
- ・学校地域支援本部設置事業の活用できる学校は積極的に導入を進めている。
- ②子育て施策の充実
- ・乳児家庭への訪問は、順調に実施している。
 - ・地域子育て支援センターの利用者増加を目指し継続的に事業に取り組んでいる。
平成 27 年度に子育て情報を掲載した子育てガイドブックを作成。
 - ・市ホームページにおいて平成 28 年 5 月より子育て情報サイト「香南キッズ」を設け情報を発信。平成 28 年 12 月末の子育て情報サイトへのアクセス数は 2153 件となっている。
 - ・こうなんファミリーサポートセンター事業が 11 月よりスタート。「まかせて会員」への登録に伴う、講習会の開催実施。（第 1 回 8/20・21・第 2 回 11/24・25）
お願い会員 10 人/まかせて会員 19 人/両方会員 1 人（H29. 1. 13 日現在）
 - ・香南っ子夢実現プロジェクトの取り組みを実施。小 6 対象にアンケート実施。
- ③多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充
- ・保育所での子ども一時預かりを継続して実施。香我美おれんじ、夜須、赤岡の各保育所。
 - ・平成 28 年度より野市小学校第 3 児童クラブの開設による定員増により受入拡充が図れた。

課題と今後の取り組み

1）人生をトータルでサポートする体制づくり

- ①ライフステージに応じた切れ目のない支援
- ・引き続き策定委員会を開催し、人生支援計画の重点施策等の進捗状況を管理する。
 - ・人口減少問題を考える部会での新たな事業提案を行う。
 - ・高知家健康パスポートを活用したサービスとして、こうなん健康チャレンジポイント事業を展開する。
- ②若者の出会いの場づくり
- ・継続して若年層の交流、イベント開催支援などに取り組む。

2）子ども、子育て支援・環境の充実支援

- ①子育てを支援する地域の育成
- ・校長会等で学校の取り組みを紹介し、来年度導入校を増やす。
- ②子育て施策の充実
- ・乳児家庭訪問は、できるだけ生後 1 ヶ月までに、遅くても生後 4 ヶ月までに実施する。
 - ・総合子育て支援センター開設（H31 年度予定）に向けて事業内容等を検討し、施設整備を行う。
 - ・今後も子育て情報サイト「香南キッズ」の情報の充実を図り周知を行っていく。
 - ・ファミリーサポートセンター事業内容や会員登録についての引き続き周知を行い、利用者を増加させる。
 - ・アンケートの集計。夢実現プロジェクトのアンケートの集計および選考を行い、新年度への予算化を行う。
- ③多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充
- ・ニーズが増加しており受入体制を整えていく。
香南市立の全幼稚園で平成 29 年度から「預かり保育事業」を実施
 - ・平成 29 年度からは、佐古、野市東小学校で増設による定員増を行い、6 年生までの受入を始める。

施策の追加等

- ⑨結婚に伴う新生活を経済的に支援する、結婚新生活支援事業の実施し、成功報酬として香南市ギフトカタログで利用できるクーポン券を配布。
- ⑨高知家健康パスポートを利用した、香南市のポイント制度「こうなん健康チャレンジポイント」の実施。
- ⑨不妊治療の助成として、一般不妊治療費助成事業を実施。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

婚姻件数（人口動態調査）	平成 31 年度：154 件	〈平成 28 年度：148 件〉
合計特殊出生率（住民基本台帳）	平成 31 年度：1.60	〈平成 28 年度：1.50〉

【直近の成果（アウトカム等）】

（参考目標）

出生者数	平成 28 年 12 月末	H28：184 人
〈参考 H27：187 人〉		※広報市のうごきより

基本目標 4：時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる	基本的方向：（１）協働のまちづくり推進 （２）災害に強いまちづくり	数値目標：自治会協議会結成率 ①協議会 ②自治会 自主防災組織結成率	H26 47% 61% 89%	H31 100% 100% 100%
--	--------------------------------------	---	--------------------------	-----------------------------

【概要・目的】 ○地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます。
○診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金など、個人住宅の耐震化を促進するとともに、各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修など、地域の自主防災組織づくりへの支援、災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。

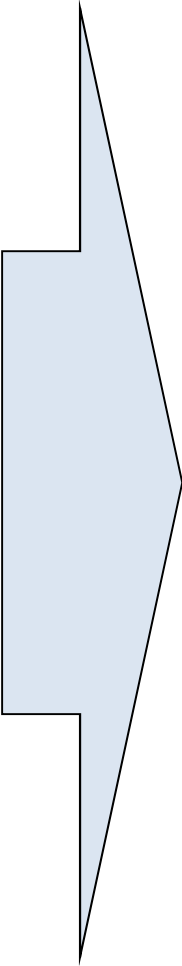
平成 28 年度の取り組み状況

１）協働のまちづくり推進

- ①住民との情報交換
- ・4 月 15 日から 5 月 20 日にかけて、市内 18 カ所で地区懇談会を開催。のべ 876 人の参加。地区懇談会カルテ更新済。14 ヶ所(香我美 6 ヶ所、夜須、赤岡、吉川各 1 ヶ所、野市 5 ヶ所)
- ②地域活動の支援体制強化
- ・香南市地域活性化総合補助金事業を順調に実施。香南市まちづくりフォーラムを開催(10/15)。

２）災害に強いまちづくり

- ①耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- ・市広報や自主防災組織研修会などで制度の PR を実施している。新聞広報やテレビ CM などを使い広く周知を図っている。
 - ・備蓄について食料、水の本年度分の発注は完了している。また、野市町へ備蓄倉庫の整備を進めている。
- ②自主防災組織の設立・活性化
- ・県主催のリーダー育成研修、防災士研修、シボジウム等への各種参加案内を通知している。
- ③災害時における地域の支え合いづくり
- ・避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援プラン（個別計画）作成対象者からの情報提供に関する同意を取得する。
- ④消防・防災対策の強化
- ・県下一斉の避難訓練に合わせ市の総合防災訓練を実施（9/4）。吉川をメイン会場とし、赤岡小学校、城山高校で避難所運営訓練を行った。また、防災無線放送に合わせ市内一斉のシェークアウト訓練を実施。



課題と今後の取り組み

１）協働のまちづくり推進

- ①住民との情報交換
- ・地区懇談会でのご意見や要望、提案は、内容を確認のうえ要点をまとめ、地区懇談会カルテとして主要な公民館に質問内容・当日回答・後日対応などを記載したものを設置している。
- ②地域活動の支援体制強化
- ・市内全域での自治会設立を目指し取り組みを進める。未設地域では、住民説明会などを通じ、設立に向けた話し合いを地域支援課及び地区担当職員と一緒に行う。

２）災害に強いまちづくり

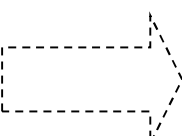
- ①耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- ・住宅所有者の負担軽減のため耐震診断費補助金を 10 万円上乘せ（合計 305,000 円）し、耐震化を進める。今後とも制度の周知を行う。
 - ・備蓄倉庫の整備及び備蓄品目、数量の拡充を行う。
- ②自主防災組織の設立・活性化
- ・未設地区に対する対応、設立済地区に対しては、資機材の再整備等広報し、継続的な活動の働きかけを実施する。
- ③災害時における地域の支え合いづくり
- ・避難行動要支援者及び避難支援等関係者への、避難支援プラン（個別計画）についての説明及び作成を行う。
- ④消防・防災対策の強化
- ・雨天のため、晴天行事が出来なかった。天候による影響の少ない会場の検討や、住民に対し、訓練の重要性や防災意識の高揚を図る。

施策の追加等

- 耐震設計補助金を現在の 205,000 円から 305,000 円に引き上げ。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

自治会協議会結成率	平成 31 年度	①協議会 100%	〈平成 28 年度：63%〉
		②自治会 100%	〈平成 28 年度：89%〉
自主防災組織結成率	平成 31 年度	100%	〈平成 28 年度：91%〉



【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）					
平成 28 年 12 月末	自治会協議会結成率：	①協議会	②自治会	〈①53%	②84%〉
	自主防災組織結成率：			〈89%〉	

基本目標 4：時代に合った地域をつくり、地域の連携による安心なくらしをまもる	基本的方向：（3）交流人口拡大 （4）大学との連携	数値目標：自治会協議会結成率 ①協議会 ②自治会 自主防災組織結成率	H26 47% 61% 89%	H31 100% 100% 100%
--	------------------------------	---	--------------------------	-----------------------------

【概要・目的】 ○地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験などの地域資源活用など、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます。
○香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。

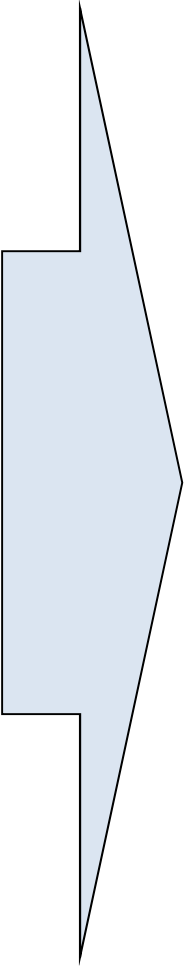
平成 28 年度の取り組み状況

3）交流人口拡大

- ①集落活動センター(小さな拠点整備)
- 西川地区集落活動センターでは、3 つの部会を組織し、それぞれが活動計画を立て取り組みを進めている。平成 27 年度から、高知大学地域協働学部と連携し、同センターでの活動を通じた学びの場の提供を行っている。今年度入学した 60 人の学生も 4 班に分かれ、西川地区で学んでいる。
- ②地域団体の活動促進、支援充実
- 地域活動団体の育成に向けた取り組みを行っている。
- ③歴史・食・体験等による交流人口の拡大
- 歴史を中心とした博覧会(志国高知 幕末維新博)の取り組みを通じた、県内に存在する歴史資源の磨き上げ(リアル化)や磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を周遊できるコース(観光クラスター)の整備に取り組む。
 - 観光施設連絡会(5/20、6/16、8/5、9/9、11/18、12/21)を開催し、市内各地域の観光施設等の相互交流や活動の活性化を行っている。

4）大学との連携

- ①大学との連携
- 平成 27 年度から、高知大学地域協働学部と連携し、西側地区集落活動センターでの活動を通じた学びの場の提供を行っている。(まちあるき：10 月、ヒアリング調査：11 月、みかんの収穫体験：11 月)
 - 学生からの地域の課題解決に向けたアイデア(企画提案)を実際に地域で実現し、地域の活性化につなげている。(フェアが教室：10 月、アンケート調査：12 月、西川冬祭り：1 月)
 - 平成 28 年度高知大学出前公開講座を 9 月より全 5 回で開催し、34 名の受講生が参加した。



課題と今後の取り組み

3）交流人口拡大

- ①集落活動センター(小さな拠点整備)
- 平成 27 年度から高知大学地域協働学部の 2 年生 12 人が、地域住民との交流や聞き取り調査、会合や活動作業などに参加。今年度後期からは、西川集落活動センターに 1 年生 10 人が関わり学んでいく。西川地区にとっても学生の新鮮なアイデアや意見に刺激を受けながら、各部会の事業計画に活かしたり、活動作業の手助けになったりと、地域が活性化している。
- ②地域団体の活動促進、支援充実
- 交流人口に拡大に寄与する、活動団体の掘り起こしや、事業の啓発等を行う。
- ③歴史・食・体験等による交流人口の拡大
- 県補助金と活用して行う磨き上げ事業及び観光クラスター事業について、香南市観光クラスター協議会で検討を行い、集客増加につなげる。

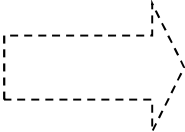
4）大学との連携

- ①大学との連携
- 西川地区集落活動センターでの継続した取り組みを行う。
 - 学生からの地域の課題解決に向けたアイデア(企画提案)を、実現に向けて取り組む。
 - 高知大学出前公開講座を継続して実施する。

施策の追加等

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

自治会協議会結成率	平成 31 年度	①協議会 100%	〈平成 28 年度：63%〉
		②自治会 100%	〈平成 28 年度：89%〉
自主防災組織結成率	平成 31 年度	100%	〈平成 28 年度：91%〉



【直近の成果(アウトカム等)】

(数値目標)	平成 28 年 12 月末	自治会協議会結成率：①協議会	②自治会	〈①53% ②84%〉
		自主防災組織結成率：		〈89%〉